

vol. 8

南国暮らしの会

特定非営利活動法人

2000年 会報 春季号



平成12年4月29日

(マレーシア特集版)

・表 紙 (フィリピン・ボホール島の風景) -----	No.52. 薮田 英隆
・目 次 -----	1 頁
・事務局からの伝達事項とお願ひ -----	2
・総会案内 (平成12年春季総会) -----	3
・マレーシアを紹介しよう ----- (財) 日本余暇文化振興会 長谷部 徳春 様	4~5
・マレーシア・魅力な国、未知な国 ----- No.101. 高澤 弘晃	6~8
・スポットニュース (タイ国コンドミニアムについて) -----	8
・セゴール川の螢並木の神秘の世界 (財) 日本余暇文化振興会 今林 弘 様	9
・マレーシア・ツアーソー (日本人会との懇談の旅) ----- No.47. 三井田 雅俊	10~11
・ツアーソー申込み及び詳細資料請求先 -----	11
・マレーシアツアーソー・日程表 -----	12
・退職後の人生をペナンで楽しむ ----- ペナン日本人会 ----- 星野 亨 様	13~15
・ペナンの住居・不動産について ----- P J L ----- 星野 亨 様	16
・南の島、マレーシア・ペナン島へ ----- No.18. 木村 義光	17~18
・甲信越支部だより ----- No.136. 鎌野 文男	18
・3年後にリタイアを迎える57歳のタイ国の6日間紀行 --- No.218. 和田 隆	19~21
・フィリピン・セブ・マクタン島からの便り ----- No.27. 鈴木 博	22
・マニラ近郊の物価動向 ----- No.61 塩見 祥昭	23
・関西支部だより ----- No.12. 大橋 繁	24
・フィリピンに第二の住家を求め長期滞在雑感 ----- No.98. 加藤 泰三	25~26
・事務局だより・会報春季号送付案内 ----- No.101. 高澤 弘晃	26~27



## 事務局からの伝達事項とお原稿い

平成12年4月25日

事務局 高沢 弘晃

昨年秋にはNPO法人に認証され、一層の飛躍の年が本年でしたが、本年早々、前会長である竹内様が自分の思いである、日本人村構想に専念するため、この会を去るという非常に残念な問題がありました。しかし残った我々は何をするか、更に何をしなければならないかを逆に強く教えてくれました。

そして残った会員は今まで以上に絆を強くし、自分でやらなければこの会は生き残れない。自分でやらなければこの会は消えてしまう。みんな自己責任において、そして 皆がボランティア精神に則り、初心に返り、この会を盛り上げていこうという機運になり、より一層の会員の絆が強くなったような気が致します。雨降って地固まる。是非この精神で今後も、より頑張っていきたいと思います。幸いなことに本年になり多くの方々にご賛同いただき、新規会員も増えております。益々発展をしていくために、皆様のご支援と、ご理解及びご意見をお待ちしております。

### 旅行中の病気について

最近一つ気になることが、時々、我々事務局に入ります。それは会員皆様方の旅行中の病気のことです。昨年から最近まで多くの方々が個人旅行されています。が、それと同時に、旅行途中での病気の話を聞きます。疲れ、食中毒、持病等多岐多様に渡ります。が、いずれにしましても病気はいただけません。病気になることによって折角、楽しみにしていた旅行はすべて台無しです。そして周囲の方々に多くの迷惑をかけます。勿論、自分は病気になると思って旅に出掛ける筈はありません。誰もが、私は病気なんか心配ないと思っている筈です。しかし、今一度、自分の体調を見詰め直して下さい。旅行に行けば普段と違います。いつもより気分も高揚しています。夜も遅くまで付き合いますし、環境も違い、また食事も違います。疲労も多くなり、多種多様な悪条件が重なり、それがストレスになります。

我々の会員の旅先は殆ど暑い所です。寒い季節に暑い所に出向きますと、それだけで体に変調をきたします。暑い所に出掛けたら、現地の人の様にノンビリ構え、3日に1日程度は是非リフレッシュする日（ホテルや買物などでノンビリ過ごす。）を設けて下さい。これからは“ノンビリ”を念頭に、無理なスケジュールは組まないで、帰国したら、今回の旅は良い保養になったと思われる様な旅にしたいものです。究極の目的は楽しくノンビリ出来る所を探しているのですから、焦らずに探す過程も楽しんで下さい。

今一度自分の体調を考えて、万全の体調で、気分爽快な旅行を楽しんで頂きたいと思います。

### 役員募集について

本会はこの度、東京都の非営利活動法人格を取得し、会の業務も多くなってきました。何分皆さん方の会費のみで運営していますので、役員に交通費などもまともに支払う事の出来ない状態です。が、現在役員を引き受けていただいた方々は出来る範囲の協力をして頂いております。

ただボランティアですので報酬なしで、年8回程度の役員会には出席出来、会の業務の一端を担える方に、是非、立候補して下さる様お願い致します。

申込みは総会、懇親会申込書などの用紙に記載出来る様になっています。

なお立候補者のない場合は理事会にて推薦候補者を互選しますので、その節はご協力の程お願い致します。

以上

会員各位

平成12年4月24日  
特定非営利活動法人 南国暮らしの会  
理事長 池田 徳三郎

## 第2回「南国暮らしの会」総会の案内

新緑の候 皆々様にはご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて恒例により、昨年秋新規に再発足致しました。「南国暮らしの会」の定期総会開催の案内を申し上げます。奮ってご参加ください。

### 記

日 時：平成12年5月28日（日）午後1時30分～午後5時 （受け付け開始午後1時より）

場 所：東京都立産業貿易センター 本館地下1階会議室

電話 03-3434-4241 ・〒105-0022 東京都港区海岸1-7-8

（JR 浜松町駅より海岸側に歩いて7分）

参 加 費：1,000円

### 1、総 会

・開会挨拶 池田理事長

#### ●議 題

・平成11年度活動報告

・平成11年度会計報告

・平成12年度役員改選

・役員紹介

・平成12年度活動方針

・平成12年度予算案

・定款、会則（「南国暮らし夢の会」⇒「南国暮らしの会」の細則に）改定について

・その他

### 2、例 会（講演会）

### 3、懇親会

・日 時：平成12年5月28日（日） 午後5時45分～午後8時30分

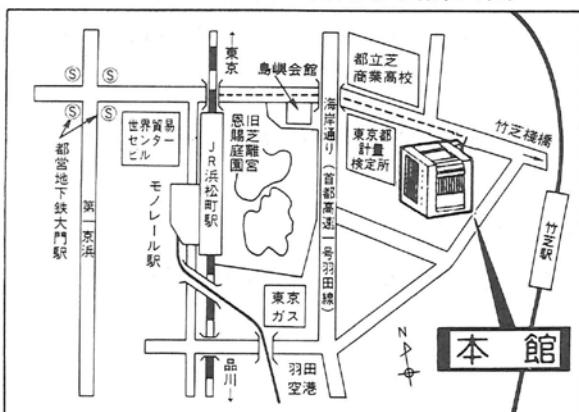
・場 所：メルパルク東京（郵便貯金会館）1F レストラン（フォンテン・ド・芝）

・電 話：03-3433-7211 ・〒105-8582 東京都港区芝公園2-5-20

・会 費：4,000円

・会場案内

東京産業振興会館案内図



- 東京臨海新交通臨海線 竹芝駅から100m徒歩2分
- JR浜松町駅から350m徒歩5分
- 都営地下鉄大門駅から500m徒歩8分

メルパルク東京案内図



JR・モノレール浜松町駅下車(北口出口)徒歩8分。都営地下鉄三田線芝公園駅下車(A3出口)  
徒歩2分、都営地下鉄浅草線大門駅下車(A3出口)徒歩4分。

## マレーシアを紹介しよう

2000年4月

(財) 日本余暇文化振興会

研究員 長谷部 徳春

### ◇ペナン島



日本人のロングステイナーの受け入れ体制はどうだろうか、ペナン州は、日本人の受け入れ促進に積極的であり、そのたの委員会を州政府に発足させた。委員長は州政府観光大臣（女性）でメンバーは官民の関係機関の代表である。定期的に会議を開催し現在日本人のロングステイナーのためのビザについてその緩和策を具体化すべく検討中であり、非常に日本に好意的である。

#### ・宿泊機関はどうだろうか

1年以上の長期滞在者としては、現地のコンドミニアムを購入する必要がある。しかし、長期滞在のための予備的生活体験をしようとしての宿泊については、ホテルあるいはサービス・アパートメントが費用及びサービス両面からみて適当と考えられる。

#### ・日常生活はどうだろうか

日常の食料品等については、各種のショッピングセンターがあり、日本に比べ非常に安く、品質も良い。

日本食用の各種食材については、「そごう」デパートで購入している駐在員が多い。

#### ・レストランはどうだろうか

何といっても中華料理が主流ですが、西洋料理、インド料理、マレー料理なども大変美味しい。日本料理はあるが非常に高い。

#### ・交通機関はどうだろうか

バスが安く、頻度も多く慣れれば利便性がよい。タクシーはメーター制を取り入れていなく、利用ごとに値段を決める必要がある。但し日本に比べれば非常に安い。

#### ・病院施設はどうだろうか

英国系の私立の病院に駐在員はかかっている。残念ながら日本語を話す医師がいなく通訳が必要である。

#### ・現地駐在員の状況はどうであろうか

日本人会（約1,500人）の組織があり、約100社の法人会員がある。



### ◇キャメロンハイランド

キャメロンハイランド行き交通機関は、クアラルンプールから約214km（ペナンから自動車でタバ経由で約4時間かかる）

#### ・気候

年間を通して21°C～22°C位で夜間は15°C程度で湿度は非常に低い。

#### ・宿泊施設

1年以上の滞在の場合はコンドミニアムの購入がベターである。しかし短期体験者はホテル又はサービス・アパートでの宿泊がベターである。推薦ホテルとしてはストロベリーパークホテル、ヘリテージホテル等。

#### ・スポーツは

スポーツはゴルフが主である。

#### ・交通機関

タクシーはメーター制を取り入れていなく、事前に料金を決める必要がある。但し料金は安い。

#### ・病院施設は

病院はあるが、重病の場合はイボ又はクアラルンプールに出向く必要がある。

#### ・レストラン

レストランは主に中華料理で、高原野菜をとりいれて大変美味しい。

#### ・その他

情報として、キャメロンハイランドは、松本清張の「暑い絹」で有名、タイのシルク王と言われるジム・ト

ンプソンのミステリーに満ちた失踪事件は30年前から今も未解決で、さまざまな憶測が出されている。またキャメロンハイランドは海拔1,500メートルほどあり年間を通して涼しく湿度も低い。マレーシアの軽井沢とも言われている。

### ◇ クアラルンプール



マレーシアの政治経済の中心で、日本人駐在員は約5,000人程いる。

#### ・駐在員との交流

日本人会は、会員相互の交流、或いは生涯学習などのため、同好会活動を盛んに行っている。スポーツ系、文科系と17の同好会がある。とくに駐在員夫人が会員となっている「カトレア会」の同好会活動は活発である。

#### ・宿泊施設

長期滞在者宿泊施設はホテル、サービス・アパートの利用、コンドミニアムの購入といずれにしても選択肢は豊富にある。生活上の利便性は高く、クオリティライフが維持できる。相当高いレベルで安全な海外生活体験を志向するには、首都クアラルンプールをベースとして滞在し、必要に応じてその他の都市を訪れるなどがよいと思われる。

#### ・交通機関

バス、タクシー、レンタカーなど利用出来る。但し長期滞在者の場合は、自家用車を購入した方が安上がりと思われる。しかし、短期滞在の場合は、タクシーのレンタルか、又はタクシーなど使わず、市内の中心地にあるサービス・アパートを賃貸で借りることも一つの案である。

#### ・レストラン及び食材

日本食をはじめ中華料理、インド料理、マレー料理その他、非常に豊富である。

#### ・病院施設

英国系の病院は多くあるが、日本語の通じる病院は少ない。日本人会が推薦している病院はジャパンメディカルクリニックである。病院は、海外旅行障害保険の適用ができる。

病院の施設もCTスキャン等をはじめとして近代的医療施設を完備している。また、同病院の院長は、日本の大学の医学部を卒業しており、日本語も話せるので駐在員には特に人気がある。

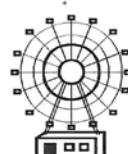
◆クアラルンプールからのオプショナルとして人気のある都市は何処だろうか、歴史的に魅力のあるマラッカ、エコツアーでも人気のあるコタキナバルなどがある。

### ☆マレーシアをシニア・リフレッシュ・ロングステイの国として選択することのメリット

- ・政治的に安定している。
- ・マハテール首相をはじめ親日的である。
- ・経済的には一時の危機を脱して回復基調にあり、今後は益々マハテール首相のリーダーシップのもと安定した経済発展が図られるものと予測される。
- ・近年、国策として、日本人のロングステイヤーを積極的に受け入れることを強化している。

以上のような背景から、今が同国へのロングステイを実現する好機と考えられる。

以上



会員 №101 高沢 弘晃

さまざまな民族によって生まれた文化が息づく国マレーシア。街にはそれぞれの民族、宗教を象徴する建物が華やかなコントラストをなし、地方には伝統的な民族芸能は今に伝えられている。屈託ない多彩な文化と豊かな自然に恵まれた複合民族国家それがマレーシアだ。

マレー人、中国人、インド人などマレーシアは多くの民族からなり、彼らはそれぞれ独自の文化、伝統、習慣を守りながら、ある時は融合し、ある時は反発しあって共存してきた。それがマレーシアという国の特徴である、また魅力でもある。

タマネギ型のドームを持つイスラム教寺院、植民地時代の面影を残す白いコロニアル風の邸宅、極彩色の中国寺院など、見事な調和を見せている。

こうした異文化の融合の上に、時代の波を受けながらクアラルンプール、ペナン、キャメロンなどがそれぞれの独特の雰囲気をもった街が生まれてきた、また街並みだけでない料理やファッショングラフィック伝統的な手工芸品などにも人種の多様さが反映されている。

五感すべてを使って体験する多彩な文化のコントラスト、それがマレーシアに対する最大の楽しみではないだろうか。

世界に誇るビーチリゾートも豊富だ。

ビーチリゾートは、マレーシアが誇る最大の観光資源である。ペナン島はじめランカウイ島、マレー半島東海岸、東マレーシアなど高級ホテルやマリンスポーツの設備が整ったビーチが沢山ある。常夏の太陽に輝くエメラルドグリーンの海と白い砂浜の誘惑を振り切れる者などいないはずだ。少なくとも3日は滞在して南国のバカンスを楽しみたい。

更に暑さ知らずの高原リゾートはどうだろうか

赤道のすぐ北、東南アジア中心に位置するマレーシア、今でも国土の70%は未開のジャングルに覆われている。マレー半島にこの密林を切り開いて作られた高原リゾートが点在しており下界の暑さで乾いた心を引き締めてくれる。ホテルなどの設備も充実し活気の中でも都市と変わらない生活が出来るのもうれしい。

椰子の葉が揺れる。白砂のビーチはどこまでも続き、陽光に輝くエメラルドの波は、やさしく寄せては返していく。

ここペナンを訪れる人の心を和ませてくれる海の楽園。東南アジア屈指のビーチリゾートとして脚光を浴び、世界各国の人々で賑わう。遙か昔に海洋貿易の要衝として栄えた面影を今なお街角にとどめている。

マレー半島の北西部、インド洋に浮かぶ東西15km、南北24kmの島がペナンだ。東洋の真珠、インド洋のエメラルド、名の通りに美しい島である。また島の中心をなすジョージタウンや、その周辺にはコロニアルスタイルの建物や極彩色の寺院が数多く見られ、イギリスの東インド会社の貿易基地として栄えた当時の榮華を今に伝えている。とまあ、このようにマレーシアはあちこちで褒め称えられている。

本当だろうか、小生、不安を一杯にマレーシア確認の旅に出た。



クアラルンプールのランドマークタワー(本人写)

日本からマレーシア航空で、クアラルンプールまで7時間、クアラルンプールからペナンまで約40分かかった。更に空港からバツウーフェリンギの町まで、約1時間のタクシーでやっと目的のホテル、ラササヤンホテルに到着した。朝、自宅を出てから、着いたのが夜の12時頃、全く疲れた。

ホテルには夜に着いたので、全体像が全くわからない。とにかく食事をしようと食堂でメニューを見る。が、そ

れも良く分からぬ。少し字が読めたのがカレーであった。まー カレーなら万国共通と思い早速、いただく、夜も遅く、とにかく腹が減っては戦ができない。がつついで食べたら、とにかく辛い、涙を出しながら口を開けてフーフーでやっと食べた次第である。最初のマレーシアの印象はこれだけであった。

翌日は、マレーシア滞在初日の朝である。豪華なリゾートホテル、さわやかに、小鳥のさえずりを聞き、心地よい朝を迎えると期待していたが、あにはからん全く予想外だった、朝6時にスピーカーから大きな声でうめき声が聞こえてくるではないか、なんだよこの声は、部屋の配置が悪かったのか4日間いたが毎朝、この声が目覚まし代わりであった。後で分かったのだが、この声はイスラムの祈りの声であった。日本ではめったに聞けないので良い経験であった。と言っておこう。

ホテルの庭は芝生が一杯敷き詰められており、大きな木が生茂り、木陰のんびり、昼寝である、全く、極楽だ、まーお金があれば毎日、このような生活をしてみたいというのが人情であろう。

更にホテルのビーチでは変なインド人が下手な日本語で呼び込みをやっている。ボートで引っ張りあげるパラシュートだ、確かパラヤーリングといったが、よく写真などに掲載されている、あれだ！。小生も勇気を出してやってみようとしたが、恐怖感が先に出て、遂に挑戦できなかっただ。ところが見ていると女性の方が勇気があるようだ、どんどん上がっていく、キャーキャー言いながら挑戦しているではないか、あーあ私としては情けない。その代わりとはなんだが、海のオートバイに挑戦、これはなかなか面白かった。少しは良い気分になり記念写真を一枚とった次第である。

昼はもっぱら、近くの屋台で食事である。コーラと焼き蕎麦で十分であった。安くて意外に美味しい。試してみてはどうだろうか。

夜は少し奮発してショーを見ながら食事をするのはどうだろうか。店はホテルのあちこちにある。とある一軒のシーフードレストランで食べながらショーを見た。音楽あり、踊りあり、イセエビ？の料理あり、味もいい、安い、こんな夜は毎日でもいいと思い結局、3日間連続足を運んだ次第である。

ホテルの一歩外に出ると近くに夜店がズラリ、Tシャツや、いろんなものを売っている。ねぎりに値切って土産用の偽ブランド時計を買う。家に持ってきてから一ヶ月もしないうちに駄目になってしまったと苦情を言われる。情けなや！。

治安については全く問題がなかった。夜、いつも近くの店まで、行ったり来たりしたが不安は感じない、毎日が日本のお祭りの夜の雰囲気である。楽しいペナンであった。

ラササヤンホテルから、ジョージタウンのコムタ（商店街）の隣にあるシャングリラホテル迄連絡バスが出ている。これに乗り、2日間このホテルの2階にある広東料理を食べに行った。マレーシアは中国料理がお勧めである。なかなか安くて美味しい。

その後コムタに行きショッピング、或いは58階にある展望台は如何だろうか。ところが、エレベーターの入



ねむ  
合歓木と椰子の生茂るビーチガーデン（本人写）



水上バイクでポーズ（妻幸子写）

り口がなかなか見当たらない。普通ならもっと展望台を宣伝するのだろうが、すでに客に飽きられているという状況なのだろうか、やっと上りのエレベーターを探し出したが怖そうな叔父さんがエレベータボーイ、展望台にたどりついたが、客はばらばら、予想通り窓は汚く、下界は良く見えない。あまりお勧めの展望台ではない。が、ジョージタウンを一望出来、話の種になる。

街は東インド会社が栄えた時代の面影を残している。人は活気にあふれ、旧市街で歴史散歩すればマレーシアの18世紀から19世紀を偲ぶ事ができる。

リゾート気分十分、そして生活観充満の市街、両方混在の街それがペナンだ。

では又

## ◇◇◇スポットニュース◇◇◇

### TBSテレビ・報道特集の問合せについて

☆TBS 報道局ニュース編集センター外信部

・電話：03-3746-1111 ・03-5571-3222

☆タイのコンドミニアム関係の放送があり、それについて何人かの問合せがありましてので、本会報にてお知らせします。

問合せ先：(株)オーバーシーズ・プランニング 社長：大江 様

・電話：0120-313-204 ・06-6374-2510 (大阪市)



## セランゴール川のホタル並木の神秘の世界 (マレーシア)

2000年4月

(財) 日本余暇文化振興会 理事 今林 弘

クアラルンプールの北西約56キロの郊外、椰子林に囲まれた牧歌的なたたずまいの村落カンポン・クアンタンのセランゴール川の川辺に、世界でも珍しいホタルの群棲が見られる。私がここを訪れたのは、今年の2月下旬のある日のことであった。カンポン・クアンタンの近くの町のセランゴール川に面した中華海鮮料理店に着いたのは午後7時頃、あたりはまだ明るかった。ひなびた田舎町の大衆食堂といった風情の店であったが、料理は噂に違わず美味しかった。しかも安い。二人でビールを飲んで、美味しそうな海鮮料理を3品程選んで、結構堪能したところで、しめて50リンギット(1,500円)といったところ。

午後8時過ぎであったろうか、漸く日が暮れて、あたりが暗くなった頃、ホタルの里カンポン・クアンタンへ向かう。

ライフジャケットを付け、4人乗りの手漕ぎの小舟で、星明りの川面に漕ぎ出す。静寂の中で、船頭さんが漕ぐ櫓の音が、何か心に静けさと安らぎを感じさせる。行く手の川の両岸には、黒々とした木々の陰が縁を作っている。暫く行くと、その黒々とした木々がキラキラと輝く光景が目に飛び込んでくる。

“ホタルだ”木々全体で、明るく光るホタルの輝きが、あたかもクリスマス・ツリーのようだ。そして、この美しい情景が、どこまでも、どこまでも続く。水辺に生えている木に近寄って、そっと手を差し伸べると、手のひらの上でホタルが光る。少し前を進んでいた小舟から女性の感嘆の声が聞こえてくる。みんなが同じような感動に浸っているのだと思う。

ふと川面から視線を移して空を見上げると、銀の砂子を撒いたような星空が、天頂に向かって広がっている。星空がこんなに美しいということを、こんなに無数の星が存在するということを、東京に住むようになってから忘れて久しい。美しい星空を見つめて、ロマンチックな思いに耽る。もう20数年も前のことになるが、チュニジヤのジェルバという島で、夜の海岸の砂浜に寝ころがって、アフリカの星空を眺めた時の感動が蘇って来る。星空を描いたゴッホの絵が何枚かあったのを思い浮かべる。

川の両岸の木々でキラキラと点滅する無数のホタルの群れの光と、小舟の行く手の地平線から天頂にかけての星の輝きとが、一体となって演出される幻想的な光の協奏曲は、まさに自然の創る感動のドラマといえる。

ここカンポン・クアンタンのホタルは、プロトティクス・テネルという種類で、3秒間に一度の割合で、キラキラ光って明るい光を放つことで知られている。体長は6ミリほどで、オスのホタルはメスのホタルよりずっと明るく輝くが、それはオスがメスを引きつけるためだと言われている。このホタルがセランゴール川のこのあたりに群棲しているのは、多湿の湿地帯を好む通称ブレンバンの木と呼ばれるブナ科の木が沢山生えているからで、ホタルはこれらの木がつくり出す蜜を吸って生存しているのである。

マレーシアにこんな素晴らしい自然があるということを、もっと多くの人に知って欲しい、見て貰いたいと願う反面、余り観光客が殺到すると、観光地が俗化し、美しい自然環境が破壊されてしまうのではないかという矛盾した思いに駆られる。クアラセランゴール行政区評議会の環境保全に対する取り組みに声援を送ると共に、その地を訪れる私達自身も、このような自然環境と自然の生態系をいつまでも保ちながら、人間が美しい自然の恵みに包まれて生きることが出来るように、マナーとルールを守って協力していくことがエコツーリズムの今後の課題なのかも知れない。

### 【参考】

料 金：保険および救命胴衣を含めた4人乗りボートのチャーター料金は、40リンギット(1,200円)

営業時間：毎晩7時半から10時半まで

以上



## マレーシア・ロングステイ地訪問と

平成12年4月

### 日本人会との懇談の旅

会員 No.47 三井田 雅俊

・日 程 : 6月23日(金)~7月3日(月) ----- 10泊11日

・旅行代金 : ¥180,000- • 使用空港 : 成田空港

「南の会」では、昨年1月の比島旅行に引き続き、本年は6月下旬のマレーシア旅行を計画致しました。

今回は、ロングステイ地をめぐり、ロングステイ用に作られたサービス・アパートメント（ホテルに長期滞在用の宿泊施設が併設されたもので、言わば、ホテルとコンドミニアムとの中間形式）にも宿泊していただき、マレーシア在住の日本人会の皆様方との懇談を通して、マレーシア・ロングステイのご体験をしていただく事をテーマと致しております。

先ず、はじめに、東洋の真珠と呼ばれている美しいペナン島を訪ねます。ここでは、最高級ホテル ラサ・サン・リゾートに3泊します。海浜沿いに建てられたホテル、豊かな南の樹々、そして美しい砂浜はハワイにも勝るともいわれております。1泊はサービス・アパートメントで過ごします。ホテルのレストランも自由に利用出来ます。

また、現地にお住まいの日本人のマンションもおたずねし、ゆっくりとご懇談いただける時間も用意しております。

ペナン州は、日本人のロングステイ招致に殊の外熱心で、州の観光大臣マダム・キーさんとの食事会も計画しております。

次の訪問地は、キャメロン・ハイランドです。

115年前に、英国人キャメロンに見いだされた海拔1,500mの高原は、日本の軽井沢とほぼ同じ広さをお考えいただいて結構です。この地は、松本清張の「熱い絹」の舞台になった処で、つとに有名です。

6~7月の最高平均気温は22°C、最低平均気温は14°Cで、絶好の盛夏避暑のロングステイ地です。特に、北欧の人々が好んで多く訪れる様です。

ゴルフ場としては、アマ・オープンが開催されるカameron・ハイランド・ゴルフ・クラブがあり、山にあるゴルフ場であるにも拘わらず、比較的平坦で遠景の山々、近くの花壇の美しいコースで、平日は一人でも廻る事が出来ます。

ここには世界的に有名なジャングル・トレッキング・コース（2~3時間のコースが14コース用意されています。）があり、北欧の中にはトレッキングの支度をしてここを訪れる人もある様です。

周囲のゆったりした山々に囲まれた、なだらかな斜面に一杯に広がる茶畠は圧巻です。おいしい紅茶を味わいながら、ゆっくりした時間が過ごせます。

ここでは、一流のリゾート・ホテル、ストローベリー・パーク・ホテルに3泊し、南のリゾート地でリラックスしていただきます。

最後の訪問地クアラルンプールに行く途中、マレーシア鉄道の冷房のきいた列車にお乗りいただき、駅弁ならぬ、お弁当をご賞味いただきながら、南の鉄道の2時間半の旅を楽しんでいただきます。

さて、マレーシア政府のかかげるマルチ・メディア都市クアラルンプールは、香港、シンガポールと並ぶショッピング天国です。世界第二といわれる大きなショッピング・センターもあり、世界一高い（452m・89階）ビルから、昔ながらの屋台の並ぶ下町、王宮、博物館、回教寺院と、見て、食べて、買って楽しむことの出来る都市です。

ここでは、3泊ともランソン・プレースというサービス・アパートメントでロングステイ体験をして頂きます。

ここでも、日本人会の、日本人女性で作られているカトレヤ会との懇談の時間を十分にとっています。  
一晩、皆様方に100万匹のホタルの幻想的な輝きをご覧いただきながら、川べりのレストランで中華風海鮮料理を召し上がっていただきます。

マレーシアは、“日本を見習え”というマハティール首相の掛け声もあって、大変親日です。ペナンには100社に余る日本企業が進出してあります。街を歩いていても後ろを気にする必要がない安全な処です。水はアジアでは日本の次にキレイだと政府の人がおっしゃっていますが、世界一キレイな水に慣れ親しんでおられる日本人の皆さんには、やはりボトルの天然水の方が安全でしょう。

マレーシアは多民族国家です。20%は中国系といわれており、外食文化の中国人が多い為か、屋台・レストランは大変おいしくそして清潔です。

今回の皆様方の旅行を十分ご満足いただける様にと、近畿日本ツーリストにプログラム作成を依頼しました。また、元近畿日本ツーリストの常務（現在、文部省所管の財団法人の理事）にも、わざわざ私共のツアーの場所を事前調査してくださり、大変なご協力をいただいております。

尚、今回のツアーには、日本から女性の添乗員と現地で合流する現地ツアーガイドも同行する様万全の態勢をとっております。

#### 【何かの時の連絡先】

南の会：（三井田／ミイダ） ☎：042-726-7464, FAX：042-726-2094

（酒匂／サコウ） ☎/FAX：048-752-1766

以上



#### 【ツアー申込み及び詳細資料請求先】

##### 1、参加申込、資料請求先

- ・近畿日本ツーリスト株式会社・クラブツーリズム事業本部 海外旅行販売センター担当
- ・☎：03-5323-6830（営業時間 9:30～17:30、日・祝は休み）
- ・FAX：03-5323-6692

上記電話番号はテレホンセンターです。「ツアーコース№14327」を言ってもらえば電話に出た人が誰でも受け付けます。（詳細問合せの場合は海外旅行販売センター担当者に接続してくれます。）

- ・〒160-8308 東京都新宿区西新宿6-3-1 新宿アイランドウイング（地下鉄丸ノ内線西新宿改札出口すぐ）

##### 2、ツアー申込み締切り期日・申込金振込

- ・平成12年5月22日（月）（最小催行人員：15名）
- ・申込金2万円も振込んで下さい。（取消しの場合、申込金2万円は出発日1ヶ月以降は返金されません。）
- ・振込金融機関及び口座番号：東海銀行新都心支店 普通預金 口座番号：1362257

・口座名義人：近畿日本ツーリスト

##### 3、ツアーデ金（残金）振込先及び期日

- ・近畿日本ツーリスト株式会社・クラブツーリズム事業本部、海外旅行販売センター
- ・平成12年6月9日（金）

\*1. 本ツアーの「特別日程」（途中参加等）を希望される方は、先日配付の日程表を参考に自分の日程表を提出して相談して下さい。

\*2. 参加希望者で本ツアーの詳細資料ご希望の方には、連絡があればツアー担当より送付致します。

以上

# マレーシア・ツアーハイライト

コースNo.14327

(株)近畿日本ツーリスト  
NPO法人 南国暮らしの会

日程	時刻・都市	コース内容
1	午後 成田発ナ 夜 クアラルンプールナ 夜 ベナン島	■空路、クアラルンプール乗車で、“東洋の真珠” ■ペナン島へ ■ホテル内レストランにて中華の夕食 <b>朝食(ペナン島泊)</b>
2	終日 ベナン島滞在	■朝食後、ペナン市内観察 【地元の人で賑わう生鮮市場・タシエンブンガ市場(○)、ペナン島を代表するタイ式の仏教寺院・寝釈迦仏寺院(○)、コーンウォーリス要塞(○)、ペナン名物人力三輪車トライショーターに乗つてチャイナタウン見学△】 ■途中、ホテル内レストランにて飲茶の昼食 ■現地事情オリエンテーション。ペナン日本人会代表との懇談です ■ケーブルカーでペナン・ヒルの頂上に登り、“東洋の真珠”と呼ばれるペナン島の夜景をお楽しみください ■夕食はスチームボード <b>朝食(ペナン島泊)</b>
3	終日 ベナン島滞在	■朝食後、終日自由行動 ■ペナン州政府観光大臣との夕食会(予定) <b>朝食(ペナン島泊)</b>
4	終日 ベナン島滞在	■朝食後、終日自由行動 ■ビスタナホテルへ移動 <b>朝食(ペナン島泊)</b>
5	午前 ベナン島 カラカンサー	■朝食後、ペナンから大橋を渡りクアラカンサーへ ■着後、カラカンサー市内観光 【マレーシアで最も美しいといわれるモスク・ウブディアモスク(○)、イスタナ・イスカンガリア(現サルタン公邸／○)、イスター・クナンガン(現博物館／○)、イスター・フン(ペラ州で一番古い王宮／○)など】 ■観光後、高原リゾート・キャメロンハイランドへ <b>朝食(キャメロンハイランド泊)</b>
6	午前 キャメロンハイランド 滞在 午後	■朝食後、キャメロンハイランド観光 【紅茶園(○)、ローズガーデン(○)、蝶園(○)など】 ■自由行動(希望者はナラタ市内散策へご案内) <b>朝食(キャメロンハイランド泊)</b>
7	午前 キャメロンハイランド 滞在	■終日自由行動。ジャングルウォーキングやゴルフ等でお楽しみください ■ホテル内ストロベリーコートにて中華の夕食 <b>朝食(キャメロンハイランド泊)</b>
8	午前 タバーナ 昼 クアラルンプール 午後 夜	■朝食後、タバーナ駅へ ■マレー鉄道にてクアラルンプールへ ■昼食は列車内にてお弁当 ■着後、ホテルへ ■スマラユレストランにてマーティナージョー <sup>朝食(クアラルンプール泊)</sup>
9	午前 クアラルンプール	■朝食後、クアラルンプール市内視察 【王宮(○)、国立博物館(○)、国立回教寺院(○)、独立広場(○)、クアラルンプールタワー(○)など】 ■途中、市内レストランにて、日本食の昼食 ■現地事情オリエンテーション。クアラルンプール日本人会メンバーとの懇談です ■クアラセランゴールにて新鮮な中華風海鮮料理の夕食後、ボートで100万匹のホタル観賞をお楽しみいただきます <b>朝食(クアラルンプール泊)</b>
10	午前 クアラルンプール 滞在	■朝食後、終日自由行動 <b>朝食(クアラルンプール泊)</b>
11	午前 クアラルンプールナ 夕刻 成田着	■朝食後、空路、帰国の途に ■通関手続き後、解散となります <b>朝食(クアラルンプール泊)</b>

\*市内観光の際、○は入場して観光します。△は下車して観光します。

※スケジュールは、現地事情により変更となる場合があります  
※車窓から観光します



## 退職後の人生をペナンで楽しむ

2000年4月



ペナン日本人会事務局長 星野亨

私は退職後の人生を、しばらくは海外・それも明確にペナンで生活することを、50歳を過ぎた頃にはもう決めていた。

理由は、若いころ（1974年35歳の時）ペナンに駐在したことである。ただし当時はまだ個人の海外旅行は経済的に難しく、4年弱の駐在を終え帰国した時にはもう2度とこの地にくることは無いと思い、今では入会にお金がかかる3つのクラブを何の疑問もなく退会して帰国してしまった。

しかし帰国後10年ほど経って海外旅行が手に届く様になってからは、毎年1回はペナンに遊びに来るようになり、駐在時代からの友人との交流を続けるようになった。

これらの経験から、ペナンで再度生活すればどのような生活がおくれるかは、容易に想像する事が出来、私が考えている退職後の人生に最適の地であると考えていた。

もう一つの理由としては、私の人生観である。

駐在時のみではなく、その後の仕事で多くの外国人と接触し、日本人と違った彼らの仕事観・人生観に触れたため、我々の年代ではまだ少数派に属する人生観を持つようになったのかも知れない。

私は自分の人生を次のような区分で送りたいと考えている。人生3分割である。

- ・最初の20年は生まれ・育ち・勉強をし自分を作る時代。
- ・次の40年は仕事をし・結婚して家庭を作り子供を育て社会的責任を果たす時代。
- ・最後は自分（達）の為の時代であり、その時は自分（達）のために、経済的な面は抜きにして、今までと全く違う事をして人生を楽しみたいと考えていた。（ヒンズー教の教えでは、最後に遊行期があるが凡人の私では到底そこまでは行けないと考えている。）

その様な訳で、退職後の第3の人生はペナンに行って、今までとは全く違った生活・活動をしたいと決め、実行した訳である。

それでは具体的にどの様な理由・メリットを考え・期待し、ペナンの海外生活を選んだのかをご説明したい。大きな理由は次の3つである。

第1に、仕事中心の生活感・人生観を持つ日本人社会で生活すれば、退職し仕事から離れれば必ず疎外感を持つ・持たされると思い、意にそぐわない仕事でも続けざるを得ぬと考え、それが嫌だった。

第2の理由は経済的なものである。第3の人生を充分楽しむ為には、日本に居てはどうしても経済的な制約から逃れられないからである。物価の安いペナンでは、経済的制約は殆ど無くなり、充分楽しむ事が出来ると考えた。

最後の理由は、海外に住めば何事も刺激が強く、また少しは希少価値がある外国人になるのでいろいろな社会的な活動をするチャンスが多くなると期待した。

さて1997年、当初の予定よりは少々早かったが、私が58歳になる直前にそのタイミングがやつてきた。仕事の面でもピークを終了、サラリーマンの年齢制限に引っかかり、そのまま続けるには子会社に転籍せざるを得なくなる直前に、あっさり退職した。

個人的にも、両親はすでに送り、子供（1人）の教育も終わりすでに結婚し、今後2人が暮らして行ける経済的メドもたっていた。

そこで自分自身に、“良く頑張った、これで第2の人生の責任は終了、今後は第3の人生を楽しみなさい”。と宣言し、かねて計画していたペナンでの生活をスタートさせた。

1997年5月、念願のペナンでの第3の人生をスタートさせた。それが、自分で予想した以上の刺激のある有意義な生活を楽しむことが出来ている。長年のペナンとのつき合いから、ここ的生活はかなり予想出来たのだが、これほど上手く行くとは思っていなかった。

人は、社会と色々な関わりを持って生きているのは、世界共通である。しかし日本人の社会との関わりは、ほとんど仕事にその重点が置かれていると思う。だが、ここペナンでは、仕事は勿論大事であるが、その他にどんな活動をして社会と関わっているかも大事なことと考えている。

今までの仕事（カネ儲け）以外の社会的な活動をするのが、私の第3の人生での望みであり、それにはこの様な考え方のペナンは最適であり、また私はここでは少数派の外国人であることが、活動のチャンスを得るのに予想以上に役立った。

私はペナンに来るにあたり、幸いにもペナン日本人会の事務局長と言う午前中だけの仕事をみつけ、滞在ビザを貰い、多くの日本人との面識を得、またその肩書きと仕事から、多くのマレーシアの人との面識を得、今までと全く違った社会的活動が出来るようになった。

午後以降は全く自由な時間で、主にゴルフ・テニスと言った大好きなスポーツを楽しんでいる。

スポーツを楽しむことは、私のペナンの生活の多くの部分をしめている。スポーツクラブとゴルフクラブの会員になっているが、両方とも家から10kmぐらいの所に有り、何時でも好きなときに楽しむ事ができる。特にゴルフは日本では考えられないほど手軽で、何時でも好きなときにスタート出来、夫婦2人が好きなだけ楽しんで、費用は月1万円強である。

長年楽しんだテニスを通じ友人から頼まれ、始めたのはペナン車椅子テニス協会の会長職である。

30年のテニス歴で、一度も存在すら知らなかった車椅子テニスだったが、毎週日曜日の午後の一番暑いときに、10数人のプレーヤーのコーチ（球拾い）をしたり、トーナメントに選手を連れて行ったり、それらの資金集めのためのイベントを企画・実現させている。

また、ペナンには日本で著名なその道の専門家がやっている、知的障害児の訓練センターがあるが、その方とも面識が出来、夫婦で資金集めのお手伝いをしている。

日本に居るときは典型的な企業人として、このような活動には精神的にも金銭的にも縁遠く、一切関わった事はなかったが、たまたま知遇を得た人に触発され、このような活動をお手伝いすることになり、今までと全く違った経験をしている。

さて、これから力を入れていきたいことは、日本人の退職者のペナン滞在を促進する活動である。

ペナンに来るにあたり、ロングステイ財団にコンタクトを取り、機関誌に私のことを紹介していただいた。その後それがきっかけになり、本に2回・雑誌に1回私の経験が紹介され、またそれを見た方が連絡され、すでに4~5人のかたのペナン滞在のお手伝いをしてきた。

一方マレーシア政府は昨年末“SILVER HAIR PROGRAM”を見直し、より多くの外国人引退者が、マレーシア滞在をするよう条件を緩和した。

この動きについてペナン州政府に接触したところ、州政府は特に日本人引退者のペナン招聘に熱心であった。

種々話し合いを重ね、官民共同で、より多くの日本人引退者にペナン滞在を奨励するプロジェクトをスタートすることになった。

私は、この中でNPO（非営利）会社を組織し、日本に対しペナンに長期滞在するのに必要な基本情報の提供と、VISAの取得を援助する活動を行うことになった。

この会社は、仕事の性格と私の希望で非営利会社とし、上記の活動のみ行い商業活動には一切タッチしないこ

ととした。無論具体的なサービスは、コマーシャルサイドで提供出来る体制をとり、全体をペナン州政府が調整・促進することとなった。

この様な活動をすることになったのは、文字通り私がペナンに住む日本人であり、長年の人脈・地縁の賜物だと思う。

さて最後に経済的な状況を説明したい。この様にペナンでの生活を楽しんでいるが、これを支えてくれているのは経済的なメリットである。

現在のペナンでは、日本とほとんど同じ様なレベルの生活環境があると思う。文化的な面・街や店の外観等劣る面があるが、住環境は遥かに優れており、総合点では同じレベルと思う。

それでもペナンの物価は日本の1/4から1/5である。これは多くの日本人がペナンで生活した実感である。

外国為替市場では、日本の円は強い自動車・電機メーカーに支えられ購買力から見て“倍”に評価され、発展途上国マレーシア・シンガポールはその理由から“半分”に評価されているためと思う。この様な理由なので、先々差は少し小さくなるが、ペナンでの物価安はここ当分は続き、日本人はそのメリットを享受する事が出来ると思う。

私はこの様なペナンでの生活を、今暫くは楽しみたいと思うが、もっと年を取って体力が弱った時は、やはり日本を中心とした生活に戻ると思う。

さて最後に、この文章はすべて第一人称で書いたが、家内も私と同様、ペナンの生活を大いに楽しんでいる事を付け加えたい。

## 参考

◇ペナンの生活費及び不動産（2000年1月 P J L 調査）

1、短期滞在（賃貸住宅又はホテル）

（夫婦／月、通貨単位：RM[リンクット]）

	A	B (サービスアパート)	C (ホテル)
生活費	1,500	2,200	3,000
レジャー費		500	500
他	500	500	500
家賃	1,500	2,500	4,500
交通費	500	1,000	1,500
合計	4,000	6,700	10,000
	12冊	20冊	30冊

\* 1 RM = 30 円で換算

2、長期滞在・（住居、車は購入として）

1)生活費

	A	B	C
生活費	1,500	2,500	3,500
他	1,000	1,000	1,000
合計	2,500	3,500	4,500
	7冊	10冊	13冊

2)住居、車等の購入費（単位K : 千）

家	250K	320K	500K
車	35	60	80
クラブ入会金等	15	20	20
合計	300K	400K	600K
	900冊	1,200冊	1,800冊

以上



## ペナンの住居・不動産について

2000年4月

P J L 星野亨

### 1、住居の形態 マレーシアの住居の形態は下記の様に分かれます。

- (A) 個別住宅 : ①バンガロー ----- 1軒家。  
②セミデタッチ・ハウス ----- 1軒家が真ん中で二つに仕切られた家。  
③デタッチ・ハウス ----- 日本の長屋（6～10軒の家がくっいている）。
- (B) 集合住宅 : ④コンドミニアム ----- プール、ジム等の施設があるマンション。  
⑤アパートメント ----- 日本のマンション。



### 2、基本的な情報

1) 外国人不動産取引（売買、賃貸）は下記の条件以外は自由。

(a) RM 250,000- (約¥7,500,000-) 以上の物件のみ購入可。

(b) 売買、賃貸に伴う日本からの送金は自由、日本への送金は1年後、且つ利益に対する所得税を払えばOK。

2) 住居に付属する土地の保有形態。

(a) フリーホールド ----- 日本と同じ私有制。

(b) リースホールド ----- 99年の賃貸（土地代が賃料）です。

中国人はフリーホールドの物件は嫌います。従って売買価格も安目で、売却は少々しづらい。但し賃貸の場合は賃料金は余り変わらない。

3) 在ペナンの日本人の95%以上はコンドミニアムに住んでいる。理由は、個別住宅は物件の煩雑さのほか、特に安全面、維持の難しさから、個別住宅に住んでいる人は少ない。

4) 不動産の市場価格は1997年前半迄はバブル現象もあり過熱、後半以降は安くなり、本年は若干上がる傾向が見えはじめた。

### 3、購入、賃貸について

- 外国人にとって不動産の購入は一番難しく、慎重にすすめること。購入にあたっては、不動産登記、売買契約書等の処理のみならず、取引の安全確保の為信用のおける弁護士をたて、すすめること。
- 購入にあたっては、新規物件以外は免許のある不動産屋の仲介が好ましく、仲介手数料などは法律で決められている。知り合い程度の紹介は、不当な仲介料を取られる恐れが多々あり注意のこと。
- 賃貸は不動産屋の紹介で行うが、手数料などは決められており、借り手は賃料のみ支払う。  
2年契約が基本。以後一年づつ延長。

### 4、市場価格（単位：1RM[リヤット] = 30円で換算）

賃料 (RM/月)	購入価格 (RM・K=千)
1) コンドミニアム (A) 800 ~ 1,500 (2.4万円 ~ 4.5万円)	(150K~250Kは外国人購入不可)
(B) 1,500 ~ 2,500 (4.5万円 ~ 7.5万円)	250K~350K (750万円 ~ 1,050万円)
(C) 2,500 ~ 3,500 (7.5万円 ~ 10.5万円)	350K~500K (1,050万円 ~ 1,500万円)
(D) 3,500 以上 (10.5万円 以上)	500K以上 (1,500万円以上)
2) 個別住宅 (場所・土地の広さで多様、市場価格は難しい)	
・バンガロー 3000	1000K以上
・セミデタッチ 多様	200K~800K

以上



私は山梨県で生まれ、育ちました。山梨は盆地で冬の雪は少ないものの、東京に近い割に、高い山に囲まれている為、寒さは厳しく八ヶ岳降しの寒風が吹きすさぶ日は身も心も凍りつくようです。

今でこそ、東京と名古屋を結ぶ中央自動車道の開通のお陰で新鮮な魚貝類が食べられるようになりましたが、子供の頃、まれに、魚が食卓に出たとしても、運送に時間がかかるので、鮮度を保つ為に、塩を塗して真白で、塩辛くて、とても海の匂いなど感じられませんでした。海は、山国の中では凄く遠い存在だったのです。本物の海を見たのは私が中学生の時の遠足、ただ一回で、その時の驚きの記憶は今にいたっても鮮明です。

私は子供の頃銭湯へ行くのが好きでした。その頃の銭湯の壁には大方、海が描かれていました。大きい海の絵を見たかったのです。波のない神秘的に静まりかえった海と小島、荒々しく猛った海とか、銭湯によって違っていましたが、銭湯に行ける日が待ち遠しかったものです。。。

私は、今57歳です。今年暮れには58になります。最近良く鏡をみます。頬の肉はずり落ち、二重瞼は片目が一重になり、それも目尻がかなり下がっています。要するに左右のバランスが崩れています。万有引力の法則で地球上の全ての物体は、引力に引っ張られて落ちるのだそうです。人間の体の肉も下へ落ちるのでしょうか？

それでも若いころは、なんて、時に酔って自慢話をしてみても、年よりの冷や水と、笑われるのが落ちで、何とも、締まりのない話になってしまいます。

昔は「人間五十年」といわれ、それが寿命だったようですから、随分伸びたもので、今では90歳になっても、ピンピンしている人も沢山います。

私は前々から69歳で彼岸へ旅立つと思って居ます。どうしてと云われても困りますが理由はありません。兎も角、そう思うのです。しいて訳を言えば、父は89、母が79、兄は59で逝つたので、私は69だ、と、思っているのです。今から12年後にあの世へ、旅に出なくてはならない訳ですから少しは慌てます。。。

50歳の時、落ち始めた体力を感じると共に、今後どう生きるかを考え始めました。

2000年1月、今、私は購入したコンドミニアムの部屋の窓ガラス越しに、180度視界に広がる海を見渡しています。

ペナンの海です。遠くにうっすらと、対岸のマレーシア本土の山の連なりが見えて、釣り舟のか小さく白く光って見えています。私はこんな光景を何度も無く、夢に画いて見たものです。

今から7年前、丁度50歳になった時、老後は海の見える暖かい所で送ろうと決めました。

そして60歳になる前までに、その準備を完成させようと固く決心したのです。海のある暖かいところで老後を過ごしたいという気持ち以外に、経済的にも老後をゆったり暮すには、日本は余りにも物価が高くて暮し難くなっていますし、山梨の寒さは老後には厳しすぎると考えたからです。又少し日本を離れて遠くから郷里の事を考えるのも良いかも知れないと考えました。

そんな事から、私の「南国移住作戦」の研究が始まりました。

それまで自営業の不動産売買業やその他の仕事から、老後安定した収入を得るのに何の仕事に切り替えたら良いのか、従業員の将来をどう考えてあげたら良いか、模索して眠れない夜もありました。結局、結論はアパートを建てる事に落ち着きました。幸い、今までに買っておいた土地がありましたので、いろいろ考えた末に、一番危険の少ないアパートを建てる事にしたのです。悩んだわりにはシンプルな選択になりました。社員はアパートの入、退去の斡旋、メンテナンス、などの管理業務をやってもらう事にしました。山梨学院大学のすぐ近くに割合広い敷地を持っていましたので、そこに、他県からの学生専門のアパートを、他の土地に家族向けアパートを幾つか建てる事にしました。

その間にハワイ、オーストラリア、グアム島、ロタ島等へのロングステイ先探しの旅が始まりました。

ハワイは聞きしに勝る美しく魅力的なビーチと街並みでした。なかでも私達はハワイ島が非常に好きになりました。コナのまちは明るく、さっぱりした気候で、隣町のヒロは日系人が多く、素朴で人情味溢れる所でした。私達はここであれば老後をのんびり暮せると考えました。しかし、残念ながら、ハワイの長期滞在ビザを取得するのは至難の技で、観光ビザでは3ヶ月しか居られません。私達は老後をその地で長期間ゆったり過ごしたかったので、諦めるほかありませんでした。この作戦は簡単に勝利を得られるものではなかったのです。再び情報収集が始まりました。

LONG STAY、南国暮しの会などのロングステイサークルへも加入して、老後何処で住んだら良いか情報を集めたり、フィリピン、バリ島、タイなどへの体験旅行へ参加したりして、ターゲット探しを再開しました。

そんな旅を続けていた3年前になります。ロングステイ誌で知った「ペナン島でのロングステイ」のツアーに参加したことです。私達夫婦は始めてのペナン旅行ですっかりペナンを気に入っていました。海があって、暖かい事、食べ物が美味しい事、治安が良くて、物価が安い事そして何にも増して嬉しかったのは、この島の人々のフレンドリーな笑顔でした。

そしてそんな時、ペナン日本人会事務局長の星野 亨氏のペナンのロングステイ体験談の講演を聞いたのが、私達がペナン島に落ち着くきっかけになりました。ペナンでの生活の素晴らしさを話され、しかし計画は慎重にと、抑制の効いた話しで感動的でした。

その後私達は、星野さんご夫婦に最大限の協力を戴いて長期滞在ビザを取得し、コンドミニアムも買う事が出来たのです。

ですから、星野さんご夫婦との出会いが無ければ、私達のペナンの今は、無かったかもしれないと思っています。私達は7年間をかけて、今、海を手にいれました。念願の夢を果たすことが出来たのです。

星野さん御夫妻本当に有難う御座いました。協力して下さった孫ちゃん、KOAYさんご夫妻、ELFRIEさん色々有難う。そしてマレーシア国とペナンの人々に乾杯。

以上



## 甲信越支部だより

平成12年4月

〒392-0012 諏訪市四賀5225-1

電話：0266-57-3326

甲信越支部長 会員No.136 鎌野 文男

前略 皆さんお元気にて寒い冬を乗り切りお元気でお過ごしのことと存じます。

さて本支部の情報交換会を近日開催する予定です。支部及び近隣の会員の方々お誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

予定期日：平成12年6月上旬

正式期日や会場等は追ってご連絡致します。

では皆様のご健康を祈念しております。

草々

## 3年後にリタイアを迎える57歳のタイ国の6日間紀行

平成12年1月

会員No. 218 会津若松市在住 和田 隆

### はじめに

戸田智弘氏の2冊の本（「老後をアジアリゾートで暮らす」・「50歳からの脱日本読本」：双葉社）に触発されて突然思ひ立ったタイ国訪問であった。

同行者は、妻、娘（20歳）、職場の部下で訪タイ歴7回の若者（26歳）計4人。

### 2000年1月6日（木）

格安航空券（羽田～チェンマイ往復＋ホテル1泊、1人当たり7万円）入手して、8:50分羽田空港から中華航空に搭乗、台北でトランジット、バンコクでトランジット。9:25分（現地時間、日本との時差はマイナス2時間）目的地チェンマイ到着。

O.L.SタイCo. Ltd職員の新堀さん（20代の若い女性）が空港まで出迎えてくれた。ホテル・ホリディーガーデン泊。

### 1月7日（金）

9:00にホテルを出てO.L.SタイCo. Ltdのオフィスに向かつた。社長の高橋公志氏が所用で不在であったため、このビルのコンドミニアムにロングステイを始めたばかりだという太田ご夫妻にお会いして、ロングステイの実態などについてお話を伺つた。

ご夫妻は、旧台湾出身で、終戦後復員した元軍人だそうである。そういう経緯から、本来は台湾に住みたいというご希望をお持ちだそうであるが、台湾の国情がそれを許さず、結局チェンマイに居を構えたということであった。チェンマイに来てまだ数ヶ月だそうであるが、極めて快適な生活をなさつている様子であった。

太田ご夫妻が暮らす、このヒルサイドプラザ＆コンデソルビルにあるコンドミニアムの1室を見せてもらった。広いリビング2室、キッチンそして勿論バストイレ付き、更にそれよりやや狭めのゲストルーム付きで家賃月額1万バーツ（約3万5千円）だそうである。

太田氏から次のようなお話があつた。彼は「年金ビザ」を取得すべく日本で必要な書類を全て整え、完全な書類を持参してチェンマイの移民局に出向いて手続きを行おうとしたが、窓口で許可が下りなかつたそうである。太田氏がおっしゃるには、窓口の役人の匙加減（或いは袖の下？）で許可、不許可が決まるのではなかろうかというお話であった。結局、1年に数ヶ月の滞在、または通年の滞在でも、観光ビザを更新しながら滞在という道もあるということであった。

太田ご夫妻とお話をしている内に、所用からオフィスに高橋公志社長が戻られて、本格的なコンサルティングを受けた。チェンマイ市内のコンドミニアムと郊外の庭付き一戸建てという選択肢があるそうであるが、勿論本人の希望によって選択されるものであるが、一長一短あるようであった。例えばセキュリティーの問題、交通手段の問題、勿論家賃などの問題等々。

交通のことであるが、タイは日本と同じ右側通行であるが、チェンマイ市内については、交通信号が殆どなく、勿論横断歩道や歩行者用信号機などは全くない、従って歩行者優先等という思想もこれも全くなく、それに各車（中古の日本車が多かった。それに、ソンテウという荷台に4～5人乗れる赤いタクシー）は相当なスピード



■太田夫妻 わが家族 ■高橋社長

(時速70キロはゆうに超えている)で走っており、それに加えておびただしい数のバイクがノーヘルで、ひどい場合はこどもを4人位乗せて5人乗りで、道の真ん中を車の前後左右をすり抜けながら走っている。このような道路を横断するのに相当の神経を使つた。

このような状況において私たち日本人がタイ人に混じって車を運転するのは容易なことではないと思った。しかし、慣れれば、何とかなるという気もした。

高橋社長から十分なコンサルティングを受け、その日は、チェンマイ市の中心部にある、「チェンマイプラザホテル」に宿舎を代えた。ナイトバザールで買い物、そして、屋台で「シンハ=ビール」(これがタイの代表的なビールで、アルコール度数がやや高いがとても旨い)でいろいろな品(いちいち料理の名前を覚えられない、しかし、どの料理も辛い、物によっては激辛)を食べた。しかし、どの料理も口に合わないとは決して思わなかった。

### 1月8日(土)

貸し切りタクシー(11人乗りのワゴン車)でチェンマイ市内観光。夜はチェンマイの郷土料理カントークをショーを見ながら食べた。一人200バーツ(680円)。これは、料理も旨かったし、最高に良かった。

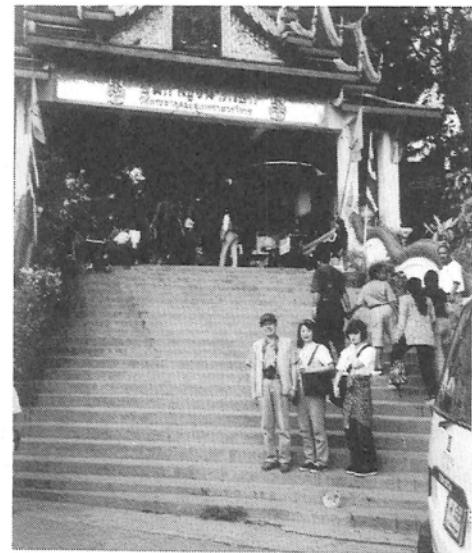
チェンマイ市の印象であるが、古都らしい落ち着いた佇まいと、バンコクほど喧噪、混沌・雑然ということもなく、落ち着いて住める環境にあると思った。犬がやたら多いという印象だった。それも殆ど放し飼いか、野犬のような感じで5~6頭で近づいてくると不気味な感じがした。それに狂犬病の予防接種などが済んでいるのか疑わしい気がした。

個人旅行だったせいか、どこに行つてもパックツアーグループさんとはほとんど会わず自由な旅を満喫できた。ガイドブックは持参したが殆ど見ないで、気の向くまま、足の向くままの行動だったので、疲れたけれどとても楽しかった。

言葉の問題であるが、チェンマイでは、観光客が出入りする場所(空港・駅・ホテル・郵便局・デパート・マーケット・レストラン等)については、英語が十分通じた。

しかし、現地の人と同じ生活圏、或いはそのエリアに入り込むとタイ語圏ということで英語は殆ど通じなかった。

観光客として短期間滞在するについてはそう問題がないように思うが、ここでの生活を考えたら、必要最小限のタイ語を身につける必要があると思った。



タイの寺院前で家族でショット

### 1月10日(月)

ホテルから歩いて10分ほどにある「ロビンソンデパート」で買い物。1/10付けの読売新聞を買った。(75バーツ=255円、さすがに高い。)

11:30分、「南国暮らしの会」会員の戸高凱人さんのお嬢さんの戸高志乃さんに、ご主人とホテルまで来ていただいた。彼女は丁度お2人目のお子さんがお腹にいて、しかも臨月であるとかで、(戸高凱人さん後日談:

女児無事誕生のこと、おめでとうございます。) 全くもって申し訳ないことをしたと何度もお詫びを申し上げた。(志乃さんは、若くて美しい方でした) 彼女とご主人のロイさんから、タイ国の暮らしについての貴重なアドバイスを多くいただいた。

志乃さんの私共へのアドバイスの要点は、「海外で暮らすということを安易に考えてはいけない。観光滞在と海外で暮らすということは全く違うことである。タイで暮らして何をしたいのか、志乃さんは、例えばということで次のような話をしてくれた。

まず、バンコクで半年か1年位滞在して、タイ語学校に通つて、ある程度の語学を習得する。そして、タイで暮らすノウハウを身につけてから目的地(チェンマイ等)に移住する。何故ならタイの中心はバンコクなので、住んでいる日本人も多いし、まず都会なので何かと便利である。そのような準備をした後、目的の行動(海外で暮らす)に移行したほうが良いのではないか。」という全くもってその通りと思えるアドバイスであつた。

十分お話を伺った後、ご主人運転のBMWで、日本人がよく利用するスーパーマーケットに連れて行っていただき、買い物の後、そこでご夫妻とお別れをして、「トウクトウク」という値段交渉制の3輪タクシーでホテルまで戻った。

### 1月11日(火)

朝6時、予約しておいたホテルの送迎バスで、(料金500バーツ=1,700円) バンコク空港へ。

9:00発中華航空で、行きと全く同じコースを逆に飛び、18:15分羽田空港に無事到着した。会津若松の自宅に戻つたのは、夜中の12:00近くになっていた。

### おわりに

現在、わたしは本来の生活に戻つていつもの通りの勤務を行つてゐる。3年後のリタイア後の生活を模索するわたしは、この度その選択肢の1つと考えている「老後を海外で暮らす」ためにタイ国の下見を実践してみた。この試みには多くの方々のご援助が必要であつた。現地タイ国でお世話になつたO.L.S タイCo.Ltdの高橋公志社長、そのオフィスの新堀さん、マネージャーのサイさん、それからオフィスでお話を伺いした太田ご夫妻、バンコクで身重のお体を押してホテルまでおいで下さった。戸高志乃さんとご主人のロイさんに心より感謝申し上げたい。加えて、お会いする約束をしておきながら、こちらの勝手な都合でキャンセルしてご迷惑をおかけした、袖山幸夫さんには、誠にもって申し訳ないことをしたことに深くお詫び申し上げます。

さらに、準備の段階で貴重なアドバイスをいただいた戸田智弘さん、戸高志乃さんのお母様、「南の会」事務局の酒匂景輝さん等の皆様に深甚なる謝意を申し上げたい。

このたびのタイ国訪問で得たものは数多くあつた。まず、生涯のパートナーである妻が、わたしのこのような考えに今まで以上に理解をしてくれたこと。そしてタイ国を十分に好きになってくれたこと。20歳になったばかりの娘が、将来父親であるわたしの理解者になってくれそうな気がしたこと等々である。

しかし、当事者であるわたしとしては、この度の多くの収穫を冷静に且つ客観的に分析をし、3年間のうちにタイ国以外の国への下見トライも含めて、3年後によりよい結論を出せるよう努めたいと思う。

そのためには、リタイア後の人生を支える現在の生活(私生活、仕事も含めて)充実したものにしなければならない。「有終の美」を図るべく、健康に留意しながら1日1日、1歩1歩を輝けるリタイアに向かって過ごす決意である。

では皆様のご健勝を祈っております。





## セブ・マクタン島からの便り

2000年4月

フィリピン・セブ在住 会員 №27 鈴木 博

暑いなーと思つていたら、通りを「アボガドー、アボガドー」という声がして、メイドと顔見合せさせて、追い掛けた。こういうときは「ドン、ドン」と皆の真似をしてみた。「にいさん、にいさん」位の感じである。

こっちで暮らすには、セブアノ語が分かったらいいなと思うときがある。英語は高校で習うので、話し掛けても結構通じないことがあり、また英語の発音が随分と違って、何度も聞き返してその結果なぁーんだと言うことがある。2月を「ペブルアリ」と言ったり、カーがどうしても「ガール」と聞こえ、終いには頭が混乱してくる。こっちの人は、こっちが外人と知っていても先ず最初にセブアノ語で話し掛けてくる。こっちがキョトン正在するといふと、スペイン語調の英語に見える。それからも両方の言葉が混ぜこぜだから、結局良く分からない。

今、アパートを借りようと思い歩き回っている。先日サブディビジョン内としては、最低ではないかという部屋を見て来た。四畳半ぐらいの部屋二つを縦に並べて、その側面に2.5m位の幅で居間と台所（ガス台は屋外）シャワーはなく、水をバケツに入れてかぶるんだそうで、家賃の安さ（2,500ペソ：約7,500円）に一度見るだけでもと行ったけど、まだまだ日本の暮らしが抜け切っていない私には、凄い勇気が要るなぁーと肌が拒否。私が学生のころ住んでいた部屋とあまり変わらないかな。その上になると、文化的に殆ど問題なくなるけれど、家賃も一挙に6,000ペソから8,000ペソ（家具付きだと8,000～12,000ペソ）、この程度になると日本人も現に住んでいる人が居るようで、部屋も若干広くなりますし、平均的な生活になるようです。

これらはタウンハウスという棟割り長屋です。1戸建てとなると15,000ペソ位から始まって手頃な立地と大きさで30,000ペソ位でしょうか。このアリマハウスの隣の、「イスラメラーダ」は新築で高めですが35,000ペソでした。マクタンはリゾート地なので、かなり高い感じがします。

日本語教室をこれから橋を渡ったセブ本島のマンダウエ市にある学校でやる事に変更、マリアさんはジプニーとトライシクルを乗り継いで通えば簡単と言う。が、これは私にとっては大変な事になったなーと不安に襲われました。ジプニーに乗るなんて事は地理を良く知らない者にとっては不可能な事に思えたからです。確かに初めの日は次々とやってくるジプニーの横っ腹の行き先を読んで、らしいと目を付けたジプニーに声を掛けて行き先と合っていれば、ほとんど停まらないうちに乗り込むのですからすごい芸当です。

中に乗込むと座席はすでに満席、ですが、少しづつ詰めてくれて、15cmぐらい空くと座れと目で合図してくれます。殆ど隣の人の腰の上に半分乗っかるようなものです。それも、鋪装の悪い道を揺れていると直ぐにちゃんと収まります。隣に若い娘でも来ると、気の毒になので少しでも反対側にずれようとするのですが、彼女らは慣れっこで全く気にする風でもなさそうです。日本の通勤電車だったら睨まれそうですが。。。それと、行き先が正しかったのかも心配ですから、緊張しっぱなしです。

無事ジプニーの降り場に着くと、次はトライシクルに乗り換えです。トライシクルはターミナルがあって、行き先ごとに無数のトライシクルが待機しているのですが、その数は何千台ともいうような数で、どれがどれだからさっぱり分からぬ。何人もの運転手に聞いて、やっと目指すトライシクルに辿り着くことが出来た。

バイクに60cm位の屋根付きリヤカーを付けた様な物に6人の客が乗るのだからこれまた凄まじい。この重荷だからエンジンの吐く煙りも、もーもーと、ターミナルから蟻の行列のように出て行くのだから、一帯は凄い排気ガスとほこりで籠っている。

この国には排ガス規制は無いらしい。アリマハウスに着くと、たかが乗り物に乗れただけなのに、ジワリといい気分が湧き上がってくるのを感じた。

日本の住まいを引き払い渡比して1.5ヶ月、PRAも取得しフィリピンの生活に何とか慣れてきました。



では又

## マニラ近郊の物価動向

2000年2月現在

調査：(マニラ市在住)会員No.61. 塩見 祥昭・ルーシー

### ◇金融関係 (フィリピン通貨の呼称:ペソ)

- ・円 相 場……1ペソ: 2. 8円～2. 9円
- ・ペソ預金年金利……7～10% (定期預金、利息に対する税金20%が源泉徴収される。)
- ・ドル預金年金利……3～4% (定期預金)

### ◇住宅関係 (マニラ近郊)

- ・貸 家……15,000～30,000ペソ/月 (約4万円～8万円)
- ・貸アパート……7,000～12,000ペソ/月 (約2万円～3万円)
- ・売 家……約750万円 (パラダイス村新築、4戸連棟方式 150m<sup>2</sup>約45坪)
- ・中古売家……約1,200万円 (パラダイス村、築数年、戸建; 100m<sup>2</sup>約30坪、土地; 750 m<sup>2</sup>約220坪)
- ・分譲マンション……約850万円～950万円 (1ベッドルーム、プエルトアズール・リゾート地内新築)  
……約1,300万円～1,400万円 (2ベッドルーム、プエルトアズール・リゾート地内新築)
- ・中古売家……約4,500万円～4,700万円 (戸建約100坪、土地約530坪、プエルトアズール・リゾート地内、洋式庭園、プール、洋式邸宅、ゴルフ会員券付)

### ◇食料品、その他 (1kg当たり、[1ペソ: 2. 8円] 日本円に換算して)

#### ☆山の幸

- ・米 (標準) ; 60 円
- ・ジャガイモ; 160 円
- ・玉葱 (赤); 160 円
- ・大根; 160 円
- ・サツマ芋; 60 円
- ・トマト; 160 円
- ・キャベツ; 120 円
- ・インゲン; 160 円
- ・茄子; 130 円
- ・人參; 130 円
- ・生椎茸; 880 円

#### ☆海の幸

- ・イカ; 300 円
- ・海老; 1,400 円
- ・太刀魚; 520 円
- ・アジ; 330 円
- ・マグロ; 900 円
- ・カレイ; 640 円

#### ☆肉類

- ・牛 肉; 600 円
- ・豚 肉; 360 円
- ・鶏 肉; 280 円
- ・鶏 卵; 120 円

#### ☆その他

- ・ビール小瓶; 35円
- ・ガソリン; 45円/ℓ
- ・軽油; 30円/ℓ



### ◇フィリピン国内航空料金 (燃料等の価格変動で料金の変動がある要注意の事)

航空会社 運航地	フィリピン・エアーライン(P R)		セブ・パシフィック		備考
	通常料金	4日以前に購入	通常料金	4日以前に購入	
マニラ ⇔ ダバオ往復	P7,609-	P5,161- (¥14,500-)	P6,867-	P4,863- (¥13,700-)	
マニラ ⇔ セブ往復	P4,775-	P4,361- (¥12,300-)	P4,429-	P3,863- (¥10,900-)	

\*目的まで当日直行の場合は乗換えが便利なフィリピン・エアーラインに日本からの搭乗をお薦めします。

### ◇人件費

- ・メイドさん; 6千円～8千円 (1ヶ月) 程度
- ・運転手、看護婦; 2万5千円～3万円 (1ヶ月) 程度

\*現在、土地、住宅、ゴルフ会員券等は2年前より50～60%値下がりし、食料品は余り変動ない。

以上

## 関西支部便り

平成12年4月

南に会 関西支部長 会員No.12 大橋 繢

### 1、野口正春様ご夫妻の歓送会 (無事終了)

・期 日：平成12年2月20日 ・参加者：22名（野口夫妻含み）

関西支部から初めてフィリピンに永住される方がおられます。それは野口正春様ご夫妻です。神戸在住の寿司店のオーナーです。

出発は関西空港より3月1日、NW便で想い出の地を後にメトロマニラに行かれました。マニラ市内に4月中に寿司店を開店されるそうです。“乞うご期待” 住所など落ち着いたら連絡を頂きます。

マニラでの再会を楽しみにしております。ご健康と商売繁盛を祈念して歓送しました。

入会して初めての方もおられ、それぞれのフィリピンに対する思いを楽しく歓談し、よい勉強会でもありました。

#### 参加者（敬称略）

森川 清  
小川近義・和子  
三谷昌鴻  
清水昭治  
長内威樹・美枝子  
平山三雄・律子  
樋口 清  
吉田泰三  
藤枝清茂  
太田宜照・悦子  
三田敏夫  
長島 稔・知子  
木下裕子  
大橋 繢・敬子



野口夫妻を囲んで記念撮影

### 2、関西支部情報交換会 (無事終了)

・期 日：平成12年4月16日、Pm 1.00～5.00 ・参加者：42名 ・大阪市内ホテルにて  
\*情報交換会講師

- ・セブ・マクタン島の施設案内 ---- (株) ヴァケーションホームズセブ ----- 二本木 宏安 様
- ・ミンダナオ、ダバオ裏表 ----- (前) ダバオ総領事、参事官、著述家 ----- 江口 博之 様
- ・フィリピンの近況とサービス -- フィリピン共和国観光省西日本支局 ----- 月村 滋司 様
- ・ダバオ報告 ----- 「南の会」ダバオ支部長、JPVA相談役 -- 森川 忠士 様
- ・JPVAについて ----- JPVA (日本・フィリピンボランティア協会) 会長 -- 綱代 正孝 様
- ・南の会現状報告、マレーシアツアーケース ----- 大橋 繢

会員には大変有意義な話を伺え、皆さん意を強くされた事と思います。全国の会員にお聞かせ出来ないのが残念です。主催者としてこのような情報交換会が催されたら出来るだけ都合をつけ参加されると、きっと得る情報を伺えます。

\*懇親会：平成12年4月16日、Pm 5.30～7.30 ・参加者：23名 ・大阪市内ホテルにて

目的を持った者同士、飲食と共にしながら、胸襟を開いての歓談は話がはずみ楽しいものです。

\*今後も関西支部情報交換会は3ヶ月に1回程度開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

以上

## フィリピンに第二の住家を求める長期滞在の雑感

平成12年4月

会員 №98 加藤 泰三・靖子

メトロマニラから約40軒ほど南下したカブヤオのビレッジに長期滞在し(H12.1.7~3.16)70日ぶりに帰った日本の我が家、少し肌寒さと沈丁花の芳香に日本の春を実感しました。

さて今回の渡比は新築住居(ローズプリンセスホームの開発中の戸建住居を昨年契約)の完成に伴う居住準備と、避寒が目的でした。避寒の目的は全く申し分なくエアコンも使わずシーリングファンのみで、窓から通る自然の風の心地良さを満喫しながらの日々でした。

住居は私達夫婦の終身利用権付一戸建特別契約(土地約150m<sup>2</sup>、建物54m<sup>2</sup>、プリンスハウスと呼称)自由設計なので、大変住み心地は良く快適でした。現在12戸完成し入居済みで、他に建築中が2戸あり、中には移住されている方もいます。将来ローズプリンセスホームへの移転が必要になった時は、無条件で転居出来る事になっています。

この物件の価格は標準価格360万円+特別価格60万円で420万円、他に家財道具やクラーを揃えて約65万円程度掛かりました。(この物件はPRA預金の6ヶ月後の用途として使えます。)

特別契約とは、会員(№44)の前沢様と同時に契約したので標準仕様(土地約100m<sup>2</sup>、建物45m<sup>2</sup>、約360万円)より少し大きめの面積をとりました。

前沢様の住居も完成し現在渡比され入居準備をされています。

ローズプリンセスホームの西ウィング20室の増築も終わり目下新しいダイニングルーム、キッチン、リハビリルーム、プール等工事中で遅くとも4月中には完成の予定だそうです。ホームには体験入居出来るシステムもあり(1部屋1泊1,000ペソ~1,300ペソ位)空港への送迎もしています。

物価は既にご承知の様に大変安く大助かりです。特に肉類、野菜、果物等豊富にあります。が、野菜の品数は少ない様に思われます。日本食材は米その他大抵の物は入手出来ます。車のない方には、買物や小旅行などドライバー付で車の手配(有料)をしてくれます。その点大変便利だと思います。

金利は現在税引き後7.2%(ペソ預金)位なので大分生活費をカバー出来るのではないかでしょうか。

自動車の高速道路の通行料金も隣のサンタロサI・C(I・C、6ヶ所位先かな?)5.5ペソ(16.5円)という信じられない安さです。(尤も日本が高過ぎるのでは!)

道路はお世辞にも良いとは言えません。また高速道路ではそれ程でもないのですが、一般道路でのドライバーのマナーの悪さには辟易します。(全体がそうだから現



ローズプリンセスホームの玄関(三井氏写)



プリンスハウスの外観(本人写)



プリンスハウスの玄関で  
お客様を出迎える妻(本人写)

地の人達には当たり前の事らしい。百聞は一見に如かず)

私共のハウスを見学に来られる日本人の皆さんは、例外なく治安の点を危惧されています。が、特に危険な地域に行かない限り全くその心配はいらないと思います。尤も旅行ガイドブックなどに記載されている注意事項等は厳守された方が良いと思います。現地の人々は大変フレンドリーで親しみ易く気軽に挨拶を交わしてくれます。

フィリピンの真夏は4月～6月で大変暑いとの事ですので、次回の渡辺はその時期を避けて7月中旬頃再度訪ねる予定です。なお当分の間はロングステイで日本とフィリピンを行ったり来たりする予定です。

私共は今度「南の会」を卒業する事にしました。が、皆様との一期一会は大切にしたいと思います。もし私共で皆さんに協力出来る事があれば、微力ながら出来る範囲内（プリンスハウス近辺の案内程度）での協力は厭いませんので連絡して下さい。

私共は将来の事を考え、このプリンスハウスを選択しました。実際70日住んでみて今のところこの選択に間違いは無かったと思っております。

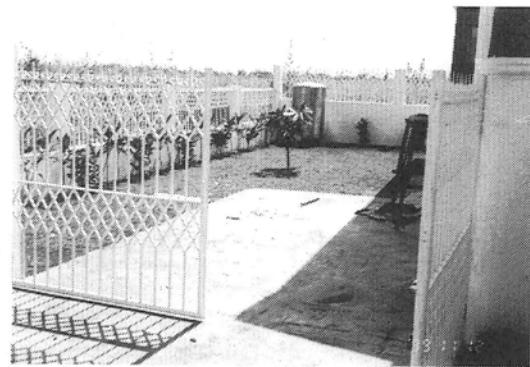
なお参考までに私共の住所を記載しておきます。（フィリピン滞在中は悪しからず）

最後に「南の会」の発展と皆様のご健勝をお祈念しております。

〒305-0042 茨城県つくば市下広岡410-164

☎0298-57-3969 加藤 泰三・靖子

以上



駐車場スペースと庭（本人写）

事務局だより

平成12年4月

事務局 高沢 弘晃

2000年春季号をお送りします。今回も例にもれなく慌ただしく、やつと、皆様のところに、お渡しすることができました。

今回は、6月23日よりマレーシア旅行を企画していますので、マレーシア特集にしました。我々「南国暮らしの会」は初めて、フィリピン中心から離れ、もうひとつの南国、マレーシア・ペナン島を中心にキャメロン、クアラルンプールです。又新しい発見があるのではないかでしょうか、是非旅行に参加ください。

又 4月29日の旅行説明会に続き、マレーシア在住の星野様を講師とする、第2回情報交換会を5月14日（日）に開催します。是非参加して下さい。生のマレーシア情報を肌で感じ取ることができます。

会員の動向は、平成12年度の正会員は4月25日現在196名（家族会員含まず）です。11年度会員は最終的に195名でした。

分析しますと11年度会員の12年度への継続会員は173名で継続率約89%です。（10年度正会員の11年度への会員の継続率約75%でした。）

新規会員は23名あと数名の方が入会の意思表示をされていますので総会までには、200名の大台を突破出来るのではないかと期待しております。

なお会員の移住やロングステイ者（内定含む）はマニラ：5組、セブ：1組、ダバオ：2名、マレーシア：1

組、タイ：1組です。

前回のアンケートにて、会員名簿の扱いについてご意見をいただき有難うございました。その結果、大部分の方から、今まで通り配布して欲しいという意見でした。この結果今まで通り、会報とは別冊にて配布致します。しかし少数意見の中には名簿の扱いを慎重にして欲しいという厳しい意見もあり、各個人にて慎重に取り扱われるようお願い致します。

## 会員以外には絶対漏れない様に自己管理して下さい。

会員名簿の見方は、退会届のあった方は本名簿から削除しました。が、届のない方は今回はそのまま残しておりますので上記の正会員196名より多くなっています。

なお南の国に移住又は住まいを求められ登録のあった方は、南の国の住所を記載してあります。2~3未だ登録のない方がいらっしゃいますが、近い内に登録されと思います。

又 私ごとで申し訳ないですが、4月5日よりマニラ、セブを10日間に渡って旅行をしてきました。今回の最大の目的は最近、P R Aを取りマニラ、セブに永住された方々を訪問する旅でした。行く先々で大勢の会員の方のお世話になり非常に楽しい旅でした。詳細については次回の会報にて掲載させていただきます。が マニラは会員№61の塩見様宅、マニラ空港から20分ほどと近く、5日間滞在、なかなかアットホームな塩見様、及び奥様のルーシーさんにお世話になり、マニラのファミリーを味わさせていただきました。ここでは、会員№237の辻様は永住で毎日花嫁探し、会員№177の野口様は永住で塩見様の近くで「すし屋」を4月16日開業しました。マニラ訪問の方は是非、お立ち寄り下さい。お二人ともマニラにぴったり、そしてマニラに滞在する喜びを感じさせてくれます。

更にセブでは「アリマ」に滞在。ここでは、会員でオーナーの中野様、友達の斎藤様、名古屋の高橋様と友達、永住された会員№27の鈴木様とその友達田中君、マリアさん等大勢の方にお会いし、楽しい一時でした。

以上



### 【参考】

※マニラ：会員№61 塩見宅 001-632-545-7937

- ・1日4,000円 2食付き、飲み放題、直接電話で問い合わせてください。

部屋は広く（20畳ほど）快適です。（車での送迎や、見物などは別途料金）

\*近くには辻様、野口様も滞在されています。

※セブ：アリマ1日700ペソ朝食付き。（送迎もあり）

- ・今年2月に移住された鈴木様が、アリマに滞在して日本語教室のボランティアを行っています。

鈴木様は適当なアパートが見付かり転居の予定です。

- ・会員の方がセブ訪問の折には、案内も実施しており「KARANCHO」店の車と案内付きで、1日2,000ペソです。

\*スキューバダイビングも86ドルで教えてくれます。ご利用ください。

以上

発行者 特定非営利活動法人 「南国暮らしの会」 理事長 池田 徳三郎

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-15-2-809 TEL/FAX 03-3947-8977

